

大槌町

ここは復興最前線

震災復興記録写真集

2017



大槌町

ここは復興最前線

震災復興記録写真集

2017



「まちづくり」とはなんでしょうか。

町づくり、街づくり、マチづくり、まちづくり。色々な書き方があり、その言葉を使う者はその微細な意味の違いを酌み取り、あるいは感じ取り、あるいは意図を込め、そう呼んでいるのでしよう。ここではそれらを包括する広義の「まちづくり」について考えてみようと思います。

改めて、「まちづくり」とはなんでしょうか。

人によって定義は異なると思いますが、私は、「住民主体、または住民と行政が一緒になって行う、生活をよりよくするための継続的な活動」が「まちづくり」であると考えています。

(土木関連の)復興事業に限らず、面的なインフラ(社会資本)整備、宅地整備というものは生活の舞台を整えたり生活を豊かにするものであって、「まちづくり」のほんの一部に過ぎません。そこに人々が生活し、生活や集団の課題を見つけ、それに立ち向かっていくその一連の流れ、その過程で生み出される文化や景色が「まちづくり」なのです。

では、「復興」とはなんでしょうか。

復興を「元の生活に戻ること」「人々の営みが安定すること」と定義するならば、やはり復興事業はその基盤を用意したに過ぎません。基盤が整備され、人々がその上で生活し、そこに新たな文化や景色が生まれる。そうしてようやく復興は終わりを遂げるのです。

2019年9月25日にラグビーワールドカップの試合が三陸沿岸の都市、釜石市の「釜石鶴住居復興スタジアム」で行われ、2020年7月24日には、かつて「復興五輪」を掲げた東京オリンピックが開催され、2021年3月31日に復興庁が廃止された後も復興は続いていきます。

この写真集は「震災復興記録写真集」と大それた名前を掲げ、今回シリーズ最終巻を迎えることになりましたが、復興の道のりのほんの一部しか

記録できていないのです。むしろ基盤整備が終わった今、ようやく復興が始まると言えるでしょう。

復興事業は「復興」のほんの一部に過ぎません。しかし、確かに、そのために人は知恵を絞り、重機を操り、山を切り崩し、土を盛り、新たな生活の場所を築き上げました。ここから真の復興が始まります。

この写真集は、大槌町が、そこに住まう人々が、そこに関わる技術者が、歩んできた道を記録した写真集です。

本書の編集方針は2015年度版、2016年度版同様に「淡々と事実のみを提示する」です。

一人ひとりがそれぞれの人生を歩み、それぞれの考え方で生活している以上、一つの事柄に対する考え方や感じ方も人それぞれです。私はどうあがいても当事者になる事はできませんし、彼らの気持ちを知ることにはできません。復興現場を見つめる瞳も人それぞれであり、彼らの気持ちを推し量ることはできません。

ですが、復興の様子を写真に記録し、本にまとめることはできます。

写真は、カメラの設定を操ることで、事実の記録から感動の記録へと昇華されますが、この写真集は事実の記録に徹しています。写真の解説についても同様です。もちろん、撮影する段階での被写体の選定や構図、写真の選び方という大元の部分で、私自身の考えが混じることは避けられませんが、できるだけ満遍なく撮影し、満遍なく紹介するように努めました。

この写真集を通して皆さんがどのように感じるかはわかりません。それは、その感情が、今まで歩んできた人生によって作られるからです。

ですが、連綿と現場は動き続け、日々復興に向かって歩み続けているという事実は揺るぎません。この写真集を通じて、復興現場の「今」と「歩み」を知って頂けたら幸いです。

まえがき

大槌町 ここは復興最前線



押ボタン式信号



contents

町方地区について	4
事業について	6
上町 2017年4月～7月	8
本町・大町 2017年4月～7月	20
末広町 2017年4月～7月	30
末広町よ市	46
上町 2017年8月～12月	48
本町・大町 2017年8月～12月	60
末広町 2017年8月～12月	78
信号機設置	90
上町 2018年3月	92
本町・大町 2018年3月	100
末広町 2018年3月	108
おしゃっち	116
鉄道	120
その後の大槌	134
定点観測	142
パノラマ	152
大槌町役場旧庁舎	156
大槌の歩み	158
大槌の景色	164

一の七年四月



4月6日：各種記念碑が設置されている代官所跡公園の高台。階段は2月頃修復された。右側のイチヨウは津波と火災で幹の大部分を損傷するも大阪狭山造園緑化協会の措置により生き延び、昨秋までは葉が付いていた。しかし、この春は芽吹かなかったため枯死と判断され、6月に伐採される。なお根元には幼木が芽吹いており、町は後世に伝えるとしている。



4月6日：区画整理事業によって整備された公園のうちいくつかには防火水槽が設置されているが、代官所跡公園はそのうちの一つ。



4月6日：2月下旬に整備が完了するものの、3月に入ってから手直しが行われ、改めて完成した代官所跡公園。



4月6日：代官所跡公園の隣の宅地では基礎工事が行われている。



4月6日：スロープやベンチなどが組み合わされ、道路を見たり池を見たりなど柔軟性の高い休憩場所になっている。



4月6日：古廟橋交差点から南へ1ブロック進んだ小鍬川沿いの街区。4月2日まではここを直進することで栄町グランドへ行くことができたが、宅地整備のため封鎖され、かなりの遠回りを強いられることになった。宅地整備が進んでいる証左である。



4月19日：上の写真の左側の様子。宅地整備の真っ最中である。



4月19日：古廟橋交差点から小鍬川沿いの様子。



4月19日：ごみステーションで用いられるブロックが置かれている。



4月19日：U字側溝が積み重ねられている。手前の道路には既に敷設されているため、別の場所で使うと思われる。



4月19日：県道から1ブロック南側の街区（南北方向）の様子。街区全体をU字溝で囲ってしまうと作業車両が出入りできなくなってしまうため、一部出入りを確保した状態で宅盤の整備を行い、一通り終わったタイミングでU字溝を設置している。敷設した上に通路を確保する手法もある。
※この写真集で単に「県道」と示した場合は県道280号（旧国道45号）を刺す



4月6日：県道から1ブロック南側の街区の様子。工事が設計通り進んでいるか確認するため、測量するための機材が設置されている。



4月6日：県道から1ブロック南側の街区（東西方向）の様子。目標の高さまで土をすき取っている。すき取った土が積み上げられている。



4月6日：県道から1ブロック南側の街区の様子。写真右側が県道沿いの街区。この道路が整備済みと整備中の境目がある事が分かる。



4月19日：県道から1ブロック南側の街区の様子。歩道が設置される道路のため、電柱の場所が他の写真と異なっている。 10



4月6日：県道から1ブロック南側の街区（南北方向）の様子。右の写真より東側の街区である。こちらはU字溝の設置も終わり、路盤の工事まで終わっていると思われる。この上からアスファルトによる舗装を施すと道路として完成する。電柱は設置されているが電線は架線されていない。



4月6日：電柱に設置された街路灯。ランプの種類はLEDである。



4月6日：県道から1ブロック南側の街区（東西方向）の様子。右の写真で紹介した街区より東よりの街区である。工事の進捗状況から、東側から整備を進めていることが分かる。



4月19日：「▽500下仕上」という表記から、この目印から500mm下が宅盤の目標高さであることが分かる。



4月6日：電柱は宅地と宅地の境目に設置するのが基本となっている。

五月



5月17日：一番手前の街区のうち県道に面している側は2016年10月3日、県道に面していない側は先月（2017年4月3日）に土地所有者に引き渡され、自由に使えるようになっている。現在宅地整備が行われている街区は県道から南に2番目と3番目の街区である。



5月20日：小鎚神社の交差点から1ブロック南へ進んだ地点からマスト側を撮影。右側が県道側の街区、左側が現在工事している街区。



5月20日：古廟橋交差点から1ブロック南へ進んだ地点から。宅地の整備を行っている。



5月20日：右の写真の交差点部をアップで。歩道が設けられた道路のため、電柱や水道管は歩道に配置されている。



5月20日：左上の写真の反対側（東側）。宅地の整備がほとんど完了しているように見える。



5月17日：右の写真の続き。表層（アスファルト）を舗装する準備を行っている。さらに奥の街区では余盛りの撤去が終わっている。
 ※盛り土造成は、計画高さの土+二階建て木造住宅に相当する重さ（ $30\text{kN/m}^2 \approx 3\text{t/m}^2$ ）の土（余盛り）+沈下量相当の土（余盛り）を盛り、地盤を締め固め、地盤の沈下が収まったら余盛りを撤去し、計画高さに仕上げている。これにより住宅再建の地盤沈下を防いでいる。



5月20日：南北方向の道路。基層の準備が終わり、表層（アスファルト）の舗装を待つだけとなった。



5月20日：宅盤の整備が進んでいる。盛り土は真砂土と岩ずりのブレンドで行われ、 30kN/m^2 の基準値を目標に施工されている。



5月20日：東西方向の道路。基層の準備が終わり、表層（アスファルト）の舗装を待つだけとなった。



5月20日：右側の街区（北側）の宅盤はほぼ完成し、左側（南側）の街区の整備を行っている。



6月7日：宅盤の計画高さに沿って赤い線が引かれ、その線を目標に土を削っている。宅地整備も最終段階のようだ。



6月7日：表層（アスファルト）の下にある基層の整備を行っている。



6月7日：上の写真で削り取った土が集められている。



6月7日：U字溝の隙間に土を押し込み、舗装の準備をしていると思われる。



6月7日：表面の土を削り取り、目標の高さに仕上げている最中。



6月6日：上町の東側を高台から。13ページの写真と比べると、ほとんど整備が終わっていることがわかる。道路の舗装も完了し、電線の架設や杭の埋設などを残すのみとなった。



6月7日：計画高さを目標に土を削っている。U字溝の設置が終わっているため、出入りをする場所には鉄板を敷いてU字溝を保護している。



6月7日：隅切り部分の工事の様子。



6月7日：東西方向の道路。舗装まで終わっている。



6月7日：小鎚神社から南側の道路。道路の舗装は終わり、歩道部分の舗装を残すのみとなった。



6月22日：左の写真の右側。県道から南に2街区目と3街区目の間の道路。舗装が終わっている。電線の架設はこれから行われる。



6月22日：左の写真の右側。奥の建物が大槌町役場。宅地整備がほとんど完了している。



6月22日：代官所跡公園の高台から。視界が開け、宅盤が広がっている。



6月22日：公民館前の高台から上町方面。中央右側の現場では四日町公園を整備している。



6月22日：本町と上町の境目の道路から。左側が本町、右側が上町。



6月22日： まっさらな宅地が広がる。



6月22日：宅地整備がほぼ終わり、杭の埋標や電線の架設を待つばかりとなった。写真右側の囲いは測量用の基準点を保護するためのもの。測量が終わると撤去される。



6月22日：本町と上町の境目から上町方面。宅地整備はほとんど終わっている。

七月



7月21日：歩道付きの少し広めの道路。小鎚神社の南側の道路である。道路の左右にある街区は両方とも7月31日に引き渡しが行われる。



7月21日：小鎚川沿いの街区。奥の方では公園（城内公園）の整備が行われている。



7月21日：小鎚川沿いの街区。宅地整備が終わっている。



7月21日：右の写真の左側。広々とした街区だ。



7月21日：小鎚川沿いの街区。まささらな宅地が広がる。



7月21日：電線の架線が完了している。手前の左右にあるブロック塀はゴミ捨て用のカゴを設置するスペース。奥の方で工事を行っている公園は四日町公園。町方地区内の公園の名称は古くに用いられた町名を基に設定されている。四日町は、大槌代官所が設置される前、まだ大槌城代がいた1617年頃、南部藩主が八日町（毎月八日に市を開いた）だけでは足りないという理由で四日にも市を開くように命じたことで誕生した。



続き→ 盛り土に影響を与えたり、盛り土により井戸のパイプが破損する恐れがあることから、祈禱の上、一部を残し全て閉塞された。この城内公園には数少ない保存された井戸が設置される。



7月21日：公園（城内公園）の整備の様子をアップで。城内公園にはかつての街並みを彷彿させる井戸が設置される。町方地区には自噴井戸やポンプアップによる井戸が多数あったが、 ←続く



7月21日：破損が確認されたU字溝の蓋。破損部分に赤色で目印が書かれている。宅地引き渡し前に交換される。



7月21日：四日町公園の整備の様子。東屋が設置されるようだ。

二〇一七年四月「本町」



八日町公園はかつての旭通り沿いとなる公園だが、旭通り沿いの公園をすり鉢状にするアイディアは、ワークショップの中で住民によって提案されたものである。すり鉢状にすることで、井戸を自噴させたいという願いが込められている。



4月18日：県道145号（大槌停車場線）を高台から。写真の範囲では住宅再建はまだ始まっていない。



4月18日：本町を高台から。奥の方で住宅再建が始まっている。右下の住宅は災害公営住宅。



4月19日：八日町公園の様子。周囲よりも土地を掘り下げていることが分かる。



4月19日：本町、大町のほとんどは3月1日までに宅地引き渡しが行われており、工事を行っているのは最南端の街区のみとなっている。



4月27日：県道145号（大槌停車場線）の様子。突き当たりで大槌駅とロータリーが作られる。



4月18日：大町を高台から。住宅再建が始まりつつある。



4月19日：八日町公園の整備が行われている。19ページにも記したが、町方地区に新たに整備される公園は昔の町名を基につけられている。八日町は毎月八日に市が行われたことから名付けられた町名。↗



4月18日：本町・大町を高台から。一際太い通りが県道280号。